

2026年度学校評価【西南学院中学校・高等学校】

建学の精神および学校法人西南学院の使命

学校法人西南学院は、「西南よ、キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて、真理の探求および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人格を育てることを使命とする。

建学の精神である「西南よ、キリストに忠実なれ」という言葉は、Lで始まる4つの英単語を用いて表され、本校では、チャペル講話をはじめ様々な教育活動においてこの4つのLを取り入れて具体的に実践している。

- ・ L i f e（生命）：すべての人命を積極的に尊重すること
- ・ L o v e（聖愛）：真の神を礼拝し、他者に奉仕すること
- ・ L i g h t（光明）：知なきところに真理の光を掲げること
- ・ L i b e r t y（自由）：責任ある自由をもって行動すること

学校法人西南学院のビジョン

- ①人間育成：キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践
- ②教育研究：確かな教育力と新たな知と価値の創造
- ③国際感覚：異文化を受容し、行動できる国際性の修得
- ④地域貢献：進化する福岡とともに歩む学校としての自覚と協働
- ⑤経営基盤：永続的な変革と発展を支える柔軟な組織の構築

西南学院中学校・高等学校における教育の目標

- ①かけがえのない“L i f e（いのち）”を大切にする
- ②“L o v e（聖愛）”の実践を通して、隣人に仕える
- ③“L i g h t（世の光）”として、平和構築に貢献する
- ④真理を探求し、真の“L i b e r t y（自由）”を得る

西南学院中学校・高等学校における学校評価の進め方と2026年度の重点目標

建学の精神を堅守しつつ、生徒一人ひとりの個性と適性を尊重した教育を目指す。また、国家、地域、年齢、言語等を超えた、多様で普遍的な価値観に対応できる平和を実現する人の育成を継続するとともに、ポストコロナ時代における学びのニューノーマルを想定し、将来に向けた健全な財政計画に基づいた教育体制の点検と整備を進めることを目指す。

2026年度 西南学院中学校・高等学校 学校評価実施計画

	中長期計画	2026年度の事業計画	担当部署
1	聖書・キリスト教に対する関心・理解の深まりに向けた方策の検討・実施	職員会議で切り替えの方向性を報告し、また教員聖書研究会での学びを通してその必要性の理解を促し、小学校との協議を進めた上で決定する。次年度の導入に向け、入学説明会で新入生及びその保護者へ伝達、諸教会等関連機関へも周知する。	宗教部
2	オンライン英会話、多読などを取り入れた本校英語教育の検証と改善	オンライン英会話、多読を取り入れた本校英語教育について検証し、改善すべき点の有無を検討する。	教務部
3	西南学院大学との連携の更なる強化	現在連携できている取り組みを検証しながら継続し、同時に今後連携可能な具体的事項を調査・検討・準備・実施する。	進路指導部
4	大学入試制度の多様化を踏まえた進路指導・キャリア教育の検討	多様化する大学入試について調査し、それに対応する進路指導、キャリア教育について検討する。	進路指導部
5	既存の海外研修制度の維持及び更なる海外交流制度の拡大	既存の制度について改善点を検証しつつ実施する。また新たな研修・交流の制度について検討する。	国際交流委員会
6	教職員の業務負担の軽減(課外活動の見直し、勤務時間の管理、ICT化による業務効率化、授業形態の再考)	他校の例などを参考に、本校の課外活動、勤務時間管理、ICT化による業務効率アップ、授業形態について検討する。	総務部
7	教職員がさらに教育活動に専念できる労働条件や職場環境の構築	他校の例などを参考に、本校における仕事と家庭の両立に向けた制度や労働条件の問題点を調査し改善策について検討する。	総務部
8	危機管理体制(災害対応・施設強化を含む)の強化	危機管理体制再構築のための本校における課題を調査・検討する。	総務部・事務室
9	校舎外壁部分の修繕計画の策定と実施	校舎外壁の修繕箇所について調査を進める。	事務室
10	校内諸施設改善や利用の方法、発展性などの検討	校内各施設の現況を把握し、改善、利用計画を検討する。	総務部・事務室
11	校務システム(学事システム)の再構築に向けた検討	現行校務システムの問題点を調査し、今後の運用計画について検討を進める。可能であれば、校務システム再構築案まで検討する。	教務部・事務室
12	校内ICT環境の更新計画の策定と実施	現行ICT関連の環境、設備の問題点について調査し、今後の更新計画について検討する。	教務部・事務室
13	中高それぞれの同窓会との協力関係の継続と強化	同窓会とのより強固な協力関係構築に向けて現況の改善点について検討する。	総務部